

(单位：千円)

(単位：千円)

(単位：千円)

款	項	目								
10	5	1	担当部局・課名		教育部・社会教育課					
事業名			子どもの居場所づくり推進事業（放課後子ども教室事業）							
事業区分		継続事業			政策3 子どもの未来応援					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%	
	①報償費		①委員等謝礼		47	47	0	0	100.0%	
	②報償費		②講師謝礼		35	35	0	0	100.0%	
	③需用費		⑤光熱水費		221	221	0	0	100.0%	
	④役務費		④手数料		4	4	0	0	100.0%	
	⑤役務費		①業務委託料（物件費）		28,645	28,645	0	0	100.0%	
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥(①～⑤の計) ➔ 28,952					決算に関する説明書		
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 *該当なし"0"を挿入 ➔ 0					該当／頁 172・173		
	臨時会補正		⑧(⑥+⑦) 事業決算合計額 ➔ 28,952					該当／頁 174・175		
100万円以上の不用額が 生じた理由（該当のみ）										
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳					一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他				
令和6年度	28,952	0	8,062	0	0		20,890			
特定財源 内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称								
	国庫支出金									
	県支出金	学校・家庭・地域連携協力推進事業県費補助金								
	負担金等その他									
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	放課後児童クラブの実施が困難な10小学校区について、小学校1年生から6年生までの児童を対象として、放課後等の子どもたちの安全で健やかな活動場所の確保を図り、地域住民の参画を得て様々な体験・交流・学習活動を行うことで児童の社会性や自主性・創造性等を育成する場所として、放課後子ども教室の運営を運営を自治組織などに委託して実施する。									
事業実績  (詳細説明) 事業一覧表／状況写真／図面等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○報償費(①委員等謝礼)           <ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後子ども教室運営委員会委員謝礼 7,800円×6人 46,800円</li> </ul> </li> <li>○報償費(②講師謝礼)           <ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後子ども教室安全管理等研修会講師謝礼 35,000円×1人 35,000円</li> </ul> </li> <li>○需用費(⑤光熱水費)           <ul style="list-style-type: none"> <li>・布野放課後子ども教室 電気料金, 上下水道使用料 220,316円</li> </ul> </li> <li>○役務費(④手数料)           <ul style="list-style-type: none"> <li>・川地放課後子ども教室 固定電話利用休止手数料 3,300円</li> </ul> </li> <li>○委託料(①業務委託料(物件費))           <ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後子ども教室運営業務委託料(10箇所) 28,644,935円</li> </ul> </li> </ul>									
別添資料等										
無										
(事業一覧等)										
成果/評価  *事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	市内10箇所（河内・粟屋・布野・作木・川地・青河・川西・田幸・君田・小童）で、住民自治組織などへ運営を委託することで、地域住民が直接子どもたちに関わり地元に根付いた活動となっています。各教室で、学習指導をはじめ、工作教室や調理教室、スポーツ活動、落語教室、農業体験などの幅広いプログラムを企画し、子どもたちの可能性が広がる取組が行われることで、放課後等の子どもたちの安全で健やかな活動場所の確保が図られました。									

(单位：千円)

(単位：千円)

款	項	目							
10	1	3	担当部局・課名		教育部・学校教育課				
事業名			学校支援員等配置事業（市費教員・学校支援員等・障害児介助指導員）						
事業区分		継続事業（拡充）			政策3 子どもの未来応援				
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	①報酬	④会計年度任用職員報酬	106,746	105,313	0	1,433	99.0%		
	②職員手当等	⑬一般職期末手当	19,860	19,004	0	856	96.0%		
	③職員手当等	⑭勤勉手当	19,393	17,293	0	2,100	89.0%		
	④旅費	①費用弁償	5,617	4,214	0	1,403	75.0%		
	⑤役務費	④手数料	85	0	0	85	0.0%		
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥(①～⑤の計) ➔	145,824	決算に関する説明書				
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 *該当なし“0”を挿入 ➔	0	該当／頁	260			
	臨時会補正		⑧(⑥+⑦) 事業決算合計額 ➔	145,824	該当／頁	261			
100万円以上の不用額が 生じた理由（該当のみ）		勤務日数が当初の見込みと異なったため。							
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源			
令和6年度	145,824	国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他				
特定財源 内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称							
	国庫支出金								
	県支出金								
	負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	個々の児童生徒の教育的ニーズに応じた指導や支援を行うことで、児童生徒に確かな力を身に付けさせるとともに、学習意欲の向上を図る。								
事業実績  (詳細説明) 事業一覧表／状況写真／図面等	○報酬(④会計年度任用職員報酬) 市費教員(理科支援員・外国語指導員) 9,310,320円 学校支援員(教育支援員) 54,106,463円 障害児介助指導員 41,896,394円  ○職員手当等(⑬一般職期末手当) 市費教員(理科支援員・外国語指導員) 223,790円 学校支援員(教育支援員) 10,915,532円 障害児介助指導員 7,863,183円  ○職員手当等(⑭勤勉手当) 市費教員(理科支援員・外国語指導員) 187,253円 学校支援員(教育支援員) 10,037,809円 障害児介助指導員 7,068,293円  ○旅費(①費用弁償) 市費教員(理科支援員・外国語指導員) 623,565円 学校支援員(教育支援員) 1,808,070円 障害児介助指導員 1,782,863円								
別添資料等									
無  (事業一覧等)									
成果/評価  *事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	理科支援員、外国語指導員のきめ細やかな指導や、学校支援員等、障害児介助指導員の個のニーズに合った支援により、学習意欲や学力の向上が見られました。三次市学力到達度検査における全国平均正答率は、全国正答率を2.6ポイント上回りました。また、研修を実施したことにより、アセスメントの大切さや児童生徒のニーズに合った支援の在り方への理解を深めました。								

款	項	目							
10	1	3	担当部局・課名		教育部・学校教育課				
事業名			小中学校学習机・椅子更新事業						
事業区分		新規事業		政策3 子どもの未来応援					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 備品購入費		③その他備品購入費		50,201	50,201	0	0	100.0%
	② 委託料		①業務委託料(物件費)		4,511	3,960	0	551	88.0%
	③								
	④								
	⑤								
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) → 54,161					決算に関する説明書	
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 *該当なし"0"を挿入 → 0					該当/頁	262
	臨時会補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 → 54,161					該当/頁	263
100万円以上の不用額が 生じた理由 (該当のみ)									
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳					一般財源	
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和6年度 特定財源 内訳	54,161	0	0	0	50,200	3,961			
	財源区分 補助金・負担金・交付金等の名称								
	国庫支出金								
	県支出金								
負担金等その他 ふるさと創生基金繰入金									
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	小・中学校の教育環境の充実を図ることを目的として、新しいJIS規格の学習机と椅子に更新する。								
事業実績  (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	○備品購入費(③その他備品購入費) ・小学校 2,140セット 34,888,040円 ・中学校 959セット 15,312,880円  ○委託料(①業務委託料(物件費)) ・処分費 小学校・中学校 3,960,000円								
									
別添資料等  無  (事業一覧等)									
成果/評価  *事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	新しいJIS規格に則った安全性、強度、耐久性などの品質基準を通過した学習机と椅子を導入することで、児童生徒の学習環境の充実を図りました。								

款	項	目							
10	1	3	担当部局・課名		教育部・学校教育課				
事業名			外国語指導助手派遣事業						
事業区分		継続事業		政策 3 子どもの未来応援					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 委託料		① 業務委託料（物件費）		54,982	54,833	0	149	100.0%
	②								
	③								
	④								
	⑤								
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) → 54,833				決算に関する説明書		
	9月補正	3月補正	⑦ その他の節の決算額 *該当なし"0"を挿入 → 0				該当／頁	262	
	臨時会補正		⑧ (⑥ + ⑦) 事業決算合計額 → 54,833				該当／頁	263	
100万円以上の不用額が 生じた理由（該当のみ）									
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和6年度 特定財源 内訳	54,833	0	0	0	0	54,833			
	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称							
	国庫支出金								
	県支出金								
負担金等その他									
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	外国語指導助手（ALT）を小学校外国語活動・英語活動及び外国語科、中学校外国語科の指導に従事させることにより、児童生徒の外国語によるコミュニケーション能力の向上を図るとともに外国語教育の充実を図る。								
事業実績  (詳細説明) 事業一覧表／状況写真／図面等	○委託料(①業務委託料(物件費)) 54,832,492円 ・市内全小中学校に11名の外国語指導助手(ALT)を派遣 54,832,492円								
									
	ALTによるイングリッシュイベント			オンライン国際交流					
別添資料等  無  (事業一覧等)	授業において、教師がALTとの対話モデルを見せたり、児童生徒が学んだ英語を実際に使ってALTとコミュニケーションをとるなど、英語による活動をとおして、児童生徒の英語によるコミュニケーションへの意欲が高まっています。 ○ ALTから話しかけられた時、「会話しようとする生徒」の項目【令和6年度三次市学力到達度検査より】 小学校5学年 89.8% (全国比+4.9pt) 小学校6学年 91.2% (全国比+4.3pt) 中学校1学年 91.2% (全国比+8.4pt) 中学校2学年 87.5% (全国比+6.3pt)								
成果/評価  * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか									

(単位：千円)

(単位：千円)

款	項	目							
10	1	3	担当部局・課名		教育部・学校教育課				
事業名			三次版学校ICT活用事業						
事業区分		継続事業			政策3 子どもの未来応援				
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	①	委託料	③施設機器等管理委託料	18,264	18,264	0	0	100.0%	
	②	使用料及び賃借料	⑨その他使用料及び賃借料	10,864	10,405	0	459	96.0%	
	③	役務費	①通信運搬費	1,188	1,188	0	0	100.0%	
	④	需用費	⑥修繕料	1,184	1,124	0	60	95.0%	
	⑤	需用費	①消耗品費	173	82	0	91	47.0%	
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①～⑤の計) ➔ 31,063				決算に関する説明書		
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 *該当なし"0"を挿入 ➔ 0				該当／頁 262		
	臨時会補正		⑧ (⑥ + ⑦) 事業決算合計額 ➔ 31,063				該当／頁 263		
100万円以上の不用額が 生じた理由 (該当のみ)									
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳					一般財源	
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和6年度	31,063	0	0	0	0	0	31,063		
特定財源 内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称							
	国庫支出金								
	県支出金								
	負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	一人一台端末を中心としたデジタル学習基盤を整備し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図ることで、これからの社会で必要となる資質・能力などの育成を図る。								
事業実績  (詳細説明) 事業一覧表／状況写真／図面等	○委託料(③施設機器等管理委託料)18,263,905円 GIGA端末運用保守, GIGAネットワーク運用保守  ○使用料及び賃借料(⑨その他の使用料及び賃借料)10,404,900円 GIGAフィルタリングソフト利用料 7,112,160円 授業支援アプリ利用料 3,292,740円  ○役務費(①通信運搬費)1,188,000円 GIGA回線利用料 NTT:35,640円×12月 427,680円 プロバイダ:63,360円×12月 760,320円  ○需用費(⑥修繕料)1,123,812円 校務用PC, プリンタ, AP修繕等  ○需用費(①消耗品費)82,500円 iPad保護フィルム								
別添資料等									
無									
(事業一覧等)									
成果/評価  *事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	各学校における一人一台端末の活用率に成果がみられました。令和6年度「全国学力・学習状況調査」では、90.5%（小学校6年）, 83.3%（中学校3年）の学校が、授業において一人一台端末を「週3回以上活用している」と回答しました。また、多くの児童生徒が、一人一台端末をはじめとするデジタル学習基盤により、自分のペースで理解しながら学習を進めることができると肯定的に回答しています。令和6年度の「全国学力・学習状況調査」では、87.4%（小学校6年）, 79.1%（中学校3年）の児童生徒が、一人一台端末を活用することについて、「自分のペースで理解しながら学習を進めることができる」と回答しました。								

款	項	目							
10	1	3	担当部局・課名		教育部・学校教育課				
事業名			いじめ防止・不登校対策推進事業						
事業区分		継続事業（拡充）		政策3 子どもの未来応援					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	①報酬		④会計年度任用職員報酬		11,021	10,940	0	81	99.0%
	②報償費		②講師謝礼		3,187	2,820	0	367	88.0%
	③職員手当等		⑬一般職期末手当		2,183	2,151	0	32	99.0%
	④委託料		①業務委託料（物件費）		2,323	1,951	0	372	84.0%
	⑤職員手当等		⑭勤勉手当		1,835	1,821	0	14	99.0%
補正 区分	6月補正	12月補正		⑥(①～⑤の計) →	19,683	決算に関する説明書			
	9月補正	3月補正		⑦その他の節の決算額 *該当なし"0"を挿入 →	1,143	該当／頁	260		
	臨時会補正			⑧(⑥+⑦)事業決算合計額 →	20,826	該当／頁	261		
100万円以上の不用額が 生じた理由（該当のみ）									
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
特定財源 内訳	20,826	0	0	0	20,821	5			
	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称							
	国庫支出金								
	県支出金								
負担金等その他	過疎地域持続的発展基金繰入金								
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	いじめ・不登校の未然防止と早期発見と初期対応や不登校児童生徒の社会的自立に向けた取組について、行政として学校・家庭・地域と連携しながら取り組み、いじめ対策の検討や相談窓口など、今後一層の充実を図る。教育相談員、青少年指導相談員、スクールカウンセラー等の人的な措置を行うことで、いじめ・不登校に限らず生徒指導上の諸課題等への総合的な対応を行う。								
事業実績  (詳細説明) 事業一覧表／状況写真／図面等	○報酬(④会計年度任用職員報酬) 教育相談員報酬(3名) 4,723,200円 青少年指導相談員報酬(4名) 6,216,861円								
	○報償費(②講師謝礼) 三次市スクールカウンセラー相談業務謝礼 2,820,000円								
	○職員手当等(⑬一般職期末手当) 教育相談員報酬(3名) 871,496円 青少年指導相談員報酬(4名) 1,279,856円								
	○委託料(①業務委託料(物件費)) 総合質問紙調査業務(小学校1回、中学校2回) 1,656,396円 取組周知用リーフレット作成委託料 294,800円								
	○職員手当等(⑭勤勉手当) 教育相談員報酬(3名) 732,424円 青少年指導相談員報酬(4名) 1,088,632円								
別添資料等									
無									
(事業一覧等)									
成果/評価 *事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	個に応じた支援などを充実させたことにより、児童生徒が安全安心な学校生活を送ったり、社会的自立を図ったりできる居場所の確保につながりました。								

款	項	目							
10	1	3	担当部局・課名		教育部・学校教育課				
事業名			校務支援システム活用事業						
事業区分		継続事業(拡充)		政策3 子どもの未来応援					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	①	使用料及び賃借料	⑥事務機器等借上料		15,000	13,022	0	1,978	87.0%
	②								
	③								
	④								
	⑤								
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥(①~⑤の計) → 13,022				決算に関する説明書		
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 *該当なし"0"を挿入 → 0				該当/頁	262	
	臨時会補正		⑧(⑥+⑦)事業決算合計額 → 13,022				該当/頁	263	
100万円以上の不用額が 生じた理由(該当のみ)		当初、感染症システムと連携することを計画していたが、県による標準化を視野に入れ、感染症システムとの連携を見送った。							
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和6年度 特定財源 内訳	13,022	0	0	0	0	13,022			
	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称							
	国庫支出金								
	県支出金								
負担金等その他									
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	校務支援システムを導入することで、児童生徒に関する情報を一元的に管理することにより、業務の効率化と適正化を図る。また、学校側の業務負担を軽減することで、教育の質の向上や学力向上に向けた取組に時間を費やすことのできる環境を構築する。								
事業実績  (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	○使用料及び賃借料(⑥事務機器等借上料)  校務支援システム33校分 月額 1,085,150円 × 12か月 13,021,800円  内訳 校務支援システムサーバー、バックアップ装置、周辺装置、サーバーソフトウエア、プロジェクト管理費、システム基本設計、帳票・マニュアル作成、ライセンス料、コールセンター費用、研修会、システム年度更新、保守現地対応 等 (令和6年3月～令和11年2月末まで 60か月間の長期継続契約)賃貸借契約								
	別添資料等  無  (事業一覧等)								
成果/評価  *事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	令和6年9月に各校へ行ったアンケート調査結果(記述式)から、次の点が導入成果として得られました。 ①システム導入による処理作業の短縮 ②データの一元管理によるミスの軽減 ③教職員の異動、児童生徒の転出入における事務作業の軽減 ④紙面管理からデータ管理による心理的、作業的負担の軽減								

款	項	目							
10	1	3	担当部局・課名		教育部・学校教育課				
事業名			読書活動推進事業						
事業区分		継続事業（拡充）		政策3 子どもの未来応援					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	①需用費		①消耗品費		9,728	9,694	0	34	100.0%
	②委託料		①業務委託料（物件費）		3,772	3,771	0	1	100.0%
	③								
	④								
	⑤								
補正 区分	6月補正	12月補正		⑥ (①～⑤の計) → 13,465			決算に関する説明書		
	9月補正	3月補正		⑦その他の節の決算額 *該当なし"0"を挿入 → 0			該当／頁 262		
	臨時会 補正			⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 → 13,465			該当／頁 263		
100万円以上の不用額が 生じた理由（該当のみ）									
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和6年度 特定財源 内訳	13,465	0	0	0	0	13,465			
	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称							
	国庫支出金								
	県支出金								
負担金等その他									
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	読書活動推進事業として、学校図書館の図書の更新を図ったり、読書活動の推進を図る読書活動推進員を全校に派遣したりすることで、児童生徒・教員による学校図書館の活用の促進を図るとともに、児童生徒の読書意欲を喚起し、読書量の増加につなげる。								
事業実績  (詳細説明) 事業一覧表／状況写真／図面等	○需用費(①消耗品費) ・市内全小中学校33校図書購入費 9,693,533円  ○委託料(①業務委託料(物件費)) ・市内全小中学校33校への読書活動推進業務委託料 3,771,378円								
									
	学校図書館の環境整備				読書活動推進員による本のメッセージ				
別添資料等  無  (事業一覧等)									
成果/評価  *事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	図書の購入により、各学校が古くなった図書を廃棄し、新しい本を配置することができました。 市内全小中学校33校への読書活動推進員の派遣を行うことで、学校図書館の運営の改善や、活用の促進が図られ、児童生徒の読書環境の充実に寄与しました。								

(単位：千円)

(単位：千円)

款	項	目							
10	1	3	担当部局・課名		教育部・学校教育課				
事業名			みよし結芽人育成事業（コアカリキュラム推進プロジェクト、教育政策研究事業、発信力向上プロジェクト）						
事業区分		新規事業			政策3 子どもの未来応援				
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 報償費		②講師謝礼		1,664	471	0	1,193	28.0%
	② 旅費		①費用弁償		1,282	29	0	1,253	2.0%
	③ 旅費		②普通旅費		29	29	0	0	100.0%
	④ 委託料		①業務委託料（物件費）		3,236	1,320	0	1,916	41.0%
	⑤ 報償費		①委員等謝礼		161	0	0	161	0.0%
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①～⑤の計) →				1,849	決算に関する説明書	
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 *該当なし“0”を挿入 →				2	該当／頁	260
	臨時会補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →				1,851	該当／頁	263
100万円以上の不用額が 生じた理由（該当のみ）		教育政策研究事業において、講師を招聘する回数等が予定を下回ったため。							
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳					一般財源	
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和6年度	1,851	0	0	0	1,850	1			
特定財源 内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称							
	国庫支出金								
	県支出金								
	負担金等その他	ふるさと創生基金（ふるさと納税分）							
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	みよし学びの共創プランの実現に向けて、三次独自のカリキュラムの新たな開発を行う「コアカリキュラム推進プロジェクト」、教育政策の立案・施策の検証等を進めていく「教育政策研究事業」、自分の思いや考えを論理的に表現する力等を育む講座「発信力向上プロジェクト」を実施する。								
事業実績  (詳細説明) 事業一覧表／状況写真／図面等	○報償費(②講師謝礼) ・教育政策研究事業 203,110円 ・発信力向上プロジェクト 267,606円								
	○旅費(①費用弁償) ・教育政策研究事業 29,340円								
	○旅費(②普通旅費) ・教育政策研修事業 28,540円								
	○事業委託料(①業務委託料(物件費)) ・コアカリキュラム推進プロジェクト 1,210,000円 ・発信力向上プロジェクト事業 110,000円								
別添資料等									
無 (事業一覧等)									
成果/評価 *事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	<p>【コアカリキュラム推進プロジェクト】指定校で研究を進め、指定校以外の学校が選考にできるような新コアカリキュラムの理念を普及するための映像資料や、モデルカリキュラムを作成することができました。</p> <p>【教育政策研究チーム】外部のアドバイザー4名を加え、教育委員会一丸となるチームを構成し、「みよし学びの共創プラン」の実現に向けた環境を整えることができました。</p> <p>【発信力向上プロジェクト】参加した児童生徒からは、「自分では見つけられなかつたことも、共有することで新たな発見があつた」「仲間の大切さに気付いた」「相手の立場を考えながら伝えることの大切さに気付いた」といった感想が得られました。</p>								

款	項	目							
10	1	3	担当部局・課名		教育部・学校教育課				
事業名			部活動指導員活用事業						
事業区分		継続事業		政策3 子どもの未来応援					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	①報酬	④会計年度任用職員報酬	5,840	4,335	0	1,505	74.0%		
	②旅費	①費用弁償	749	471	0	278	63.0%		
	③								
	④								
	⑤								
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥(①~⑤の計) → 4,806			決算に関する説明書			
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 *該当なし"0"を挿入 → 0			該当/頁 260			
	臨時会補正		⑧(⑥+⑦)事業決算合計額 → 4,806			該当/頁 261			
100万円以上の不用額が 生じた理由 (該当のみ)		勤務日数が当初の見込みと異なったため。							
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和6年度 特定財源 内訳	4,806	0	2,984	0	0	1,822			
	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称							
	国庫支出金								
	県支出金	部活動指導員配置促進事業補助金							
負担金等その他									
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	学校部活動において、教員に代わり部活動の指導を行う部活動指導員を配置することで、生徒の部活動における技術力の確実な向上と、学校教育活動の一層の充実・教員の「働き方改革」の実現を図る。								
事業実績  (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	○報酬(④会計年度任用職員報酬) 部活動指導員11名(内1名2校兼務)4,335,200円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・三次中学校1名:吹奏楽部</li> <li>・三良坂中学校2名:音楽部,ソフトテニス部</li> <li>・塩町中学校2名:卓球部,野球部</li> <li>・吉舎中学校2名:野球部,吹奏楽部</li> <li>・十日市中学校3名:卓球部,バスケットボール部,茶道部</li> <li>・君田中学校1名:卓球部</li> <li>・八次中学校1名:吹奏楽部</li> </ul> ○旅費(①費用弁償) 通勤手当相当 326,291円 生徒引率費 145,029円								
	別添資料等  無 (事業一覧等)								
成果/評価  *事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	本事業により、部活動指導員が単独で部活動指導を行うことにより、教職員が部活動に関わる時間を軽減することができました。部活動指導員が配置されているどの学校においても、「顧問の負担が軽減されている」、「部活動が充実し、生徒が意欲的に部活動に参加している」という回答が得られています。本事業は、部活動の地域展開の推進と重なり、教員の働き方改革、生徒への専門的な指導を行うための重要な取組です。								

(单位：千円)

(単位：千円)

款	項	目								
10	1	3	担当部局・課名		教育部・教育企画課					
事業名			教育振興施策調査研究事業（三次市立小中学校のあり方に関する基本方針策定事業）							
事業区分		新規事業			政策3 子どもの未来応援					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%	
	①報償費		①委員等謝礼		885	833	0	52	94.0%	
	②需用費		③食糧費		13	12	0	1	92.0%	
	③委託料		①業務委託料（物件費）		4,415	3,717	0	698	84.0%	
	④									
	⑤									
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥(①～⑤の計) ➔ 4,562					決算に関する説明書		
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 *該当なし“0”を挿入 ➔ 0					該当／頁	262	
	臨時会補正		⑧(⑥+⑦) 事業決算合計額 ➔ 4,562					該当／頁	263	
100万円以上の不用額が 生じた理由（該当のみ）										
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳					一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他				
令和6年度  特定財源 内訳	4,562	0	0	0	0	0	4,562			
	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称								
	国庫支出金									
	県支出金									
	負担金等その他									
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	みよし学びの共創プラン（三次市教育大綱・三次市教育振興基本計画）を推進していくため、全ての児童生徒にとって魅力ある学校づくりに向けた基本方針を策定する。									
事業実績  (詳細説明) 事業一覧表／状況写真／図面等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○報償費(①委員等謝礼)           <ul style="list-style-type: none"> <li>・三次市立小中学校のあり方に関する基本方針策定委員会委員謝礼 832,800円</li> </ul> </li> <li>○需用費(③食糧費)           <ul style="list-style-type: none"> <li>・三次市立小中学校のあり方に関する基本方針策定委員会お茶代 12,000円</li> </ul> </li> <li>○委託料(①業務委託料(物件費))           <ul style="list-style-type: none"> <li>・三次市立小中学校のあり方に関する基本方針策定支援業務 3,404,500円</li> <li>・三次市立小中学校のあり方に関する基本方針周知用の動画作成業務 312,400円</li> </ul> </li> </ul> <p>■ 三次市立小中学校のあり方に関する基本方針      «めざす学校教育»      「みよし学びの共創プラン」に基づき、児童生徒・教職員の「自立、共創、ウェルビーイング」をめざし、「すべての児童生徒にとって魅力ある学校づくり」を進めます。      «重点事項»      (1) 一人ひとりの児童生徒にとって、「行きたい、楽しい、もっと学びたい」と思える学校がある。      (2) 中学校卒業までに、自らの地域を含む「三次市」の魅力や特色を実感し、「三次の子ども」としてのアイデンティティ(自覚や誇り)がもてる教育を実現する。      (3) 学校、家庭、地域が協働して、児童生徒の豊かな学びを実現できる学校とする。      (4) すべての教職員が、やりがいをもって、児童生徒に向き合い、豊かな教育活動を展開する。      «取組期間»      令和7年度から令和10年度まで   </p>									
	別添資料等									
	無									
	(事業一覧等)									
	成果/評価 *事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	みよし学びの共創プラン（三次市教育大綱・三次市教育振興基本計画）を具現化するため、「すべての児童生徒にとって魅力ある学校づくり」をめざした「三次市立小中学校のあり方に関する基本方針」をまとめることができました。								

款	項	目								
10	1	3	担当部局・課名		教育部・学校教育課					
事業名			読解力向上事業							
事業区分		新規事業		政策3 子どもの未来応援						
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%	
	① 役務費		④ 手数料		2,279	1,928	0	351	85.0%	
	② 委託料		① 業務委託料(物件費)		930	600	0	330	65.0%	
	③									
	④									
	⑤									
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) → 2,528					決算に関する説明書		
	9月補正	3月補正	⑦ その他の節の決算額 *該当なし"0"を挿入 → 0					該当/頁	262	
	臨時会補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 → 2,528					該当/頁	263	
100万円以上の不用額が 生じた理由 (該当のみ)										
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳					一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他				
令和6年度 特定財源 内訳	2,528	0	0	0	2,528	0				
	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称								
	国庫支出金									
	県支出金									
負担金等その他	ふるさと創生基金(ふるさと納税分)									
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	本市児童生徒の課題である読解力の向上をめざした「教科書を適切に読み取る力」と「中学校卒業段階における英語検定3級程度の英語力」の育成を図る。母語、外国語の両面においての取組を進めることで、読解力を相乗的に高める。									
事業実績  (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	○役務費(④手数料) ・英語検定料補助金 1,928,300円 内容:年間1回、検定料全額を補助 対象:中学校第1学年・第2学年									
	○委託料(①業務委託料(物件費)) ・リーディングスキルテスト委託料 599,720円 内容:リーディングスキルテストの実施 指定校:小学校5校、中学校2校 対象学年:小学校第5学年～中学校第3学年									
別添資料等	 									
	リーディングスキルテストの結果をもとにした研究授業の様子									
成果/評価  * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	「教科書を適切に読み取る力」の育成については、7校の研究校で「リーディングスキルテスト(基礎的な読む力を測るテスト)」を用いた授業改善を進め、その実践を市内全小中学校に普及し、授業の改善につなげました。 「中学校卒業段階における英語検定3級程度の英語力の育成」については、受検機会の拡大により、英語力及び学習意欲向上に結びつけています。									

(単位：千円)

(単位：千円)

款	項	目							
10	1	3	担当部局・課名		教育部・学校教育課				
事業名			小中一貫充実事業						
事業区分		継続事業		政策3 子どもの未来応援					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	①需用費		①消耗品費		898	886	0	12	99.0%
	②報償費		②講師謝礼		733	553	0	180	75.0%
	③需用費		④印刷製本費		375	313	0	62	83.0%
	④使用料及び賃借料		④自動車借上料		247	244	0	3	99.0%
	⑤備品購入費		③備品費		53	40	0	13	75.0%
補正 区分	6月補正	12月補正	⑦その他の節の決算額 *該当なし“0”を挿入	⑥(①～⑤の計) ➔			2,036	決算に関する説明書	
	9月補正	3月補正		➡			5	該当／頁	262
	臨時会補正			➡			2,041	該当／頁	263
100万円以上の不用額が 生じた理由 (該当のみ)									
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和7年度 特定財源 内訳	2,041		0	0	0	0	2,041		
	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金								
	県支出金								
	負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	義務教育9年間を一体のものとしてとらえ、同じ中学校区の小中学校・地域が、めざす子ども像や教育目標を共有し、全ての子どもの可能性を最大限に伸ばす学校づくり及びコミュニティ・スクールの取組を生かす小中一貫教育を推進するための事業に要する経費に対し、予算の範囲内で事業費を配当する。								
事業実績  (詳細説明) 事業一覧表／状況写真／図面等	○需用費(①消耗品費)886,465円 教材・教具用紙、コミュニケーション・スクールの広報 等								
	○報償費(②講師謝礼)552,725円 指導方法や学びをつなぐ、小・中合同での研修会への講師謝礼、地域学習の講師謝礼 等								
別添資料等  無 (事業一覧等)	○需用費(④印刷製本費)312,600円 小中一貫カレンダー、研究紀要印刷製本代等								
	○使用料及び賃借料(④自動車借上料)244,132円 児童生徒交流や校外学習のバス、タクシー借上料								
  <p>学校・地域・家庭が協働して、子どもたちを育みながら 人づくり、まちづくりへつなげる</p> <p>学校運営協議会のイメージ図</p> <p>小中一貫教育だより</p>									
成果/評価  *事業を実行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	令和6年度は、新たに4中学校区がコミュニティ・スクールを導入し、合計10中学校区での導入となりました。「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」という質問への児童生徒の肯定的ご回答割合は小学校6年生で82.3%、中学校3年生で77.8%となっており、特に、中学校は増加しています。								

款	項	目	担当部局・課名		教育部・学校教育課				
10	1	3							
事業名			中学校部活動地域移行推進事業						
事業区分		継続事業（拡充）		政策3 子どもの未来応援					
事業 (経費) 内 の主 な費 目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 報酬		④会計年度任用職員報酬		1,662	1,649	0	13	99.0%
	② 報償費		①委員等謝礼		401	268	0	133	67.0%
	③ 職員手当等		⑬一般職期末手当		226	226	0	0	100.0%
	④ 職員手当等		⑭勤勉手当		190	190	0	0	100.0%
	⑤ 旅費		①費用弁償		107	16	0	91	15.0%
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) → 2,349			決算に関する説明書			
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 *該当なし"0"を挿入 → 0			該当／頁 260			
	臨時会補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 → 2,349			該当／頁 261			
100万円以上の不用額が 生じた理由（該当のみ）									
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和6年度 特定財源 内訳	2,349	0	1,618	0	0	731			
	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称							
	国庫支出金								
	県支出金	地域スポーツクラブ活動体制整備事業委託金							
負担金等その他									
事業内容及び めざした目的 (具体的)	将来にわたり子どもたちがスポーツに継続して親しむことができる機会を確保するため、運動部活動の地域連携や地域スポーツクラブ活動への移行に向けた環境の一体的な整備を図る。								
事業実績  (詳細説明) 事業一覧表／状況写真／図面等	○報酬(④会計年度任用職員報酬) 総括コーディネーター報酬 1,648,836円								
	○報償費(①委員等謝礼) 検討委員謝礼 委員(学識1人)30,000円×4回 120,000円 検討委員謝礼 委員(9人)7,800円×6人=46,800円(1回) 7,800円×3人=23,400円(2回) 7,800円×5人=39,000円(3回) 7,800円×5人=39,000円(4回) 計148,200円								
	○旅費(①費用弁償) 検討委員費用弁償 2,257円 総括コーディネーター費用弁償 14,100円								
	○職員手当等(⑬一般職期末手当) 総括コーディネーター期末手当 225,683円								
	○職員手当等(⑭勤勉手当) 総括コーディネーター勤勉手当 189,959円								
別添資料等  無  (事業一覧等)									
成果/評価  * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	令和9年度の中学校における部活動の休日地域展開に向けて、三次市地域部活動検討委員会で協議を重ねた結果、令和6年12月に示された提言に基づき、「三次市部活動の地域展開に係る基本方針」を策定し、今後の取組の環境を整えることができました。								

款	項	目							
10	1	3	担当部局・課名		教育部・社会教育課				
事業名			高校生地域活動支援事業						
事業区分		継続事業		政策3 子どもの未来応援					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 負担金、補助及び交付金	⑤補助金(補助費)		900	456	0	444	51.0%	
	②								
	③								
	④								
	⑤								
補正 区分	6月補正	12月補正		⑥ (①~⑤の計) →	456	決算に関する説明書			
	9月補正	3月補正		⑦その他の節の決算額 *該当なし"0"を挿入 →	0	該当/頁	262		
	臨時会補正			⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →	456	該当/頁	267		
100万円以上の不用額が 生じた理由 (該当のみ)									
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和6年度  特定財源 内訳	456	0	0	0	0	456			
	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称							
	国庫支出金								
	県支出金								
負担金等その他									
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	高校生が取り組む地域振興や地域貢献活動など、高等学校が行う郷土に愛着と誇りを持つ人材の育成に資する事業、学習活動等を支援することで、地域に開かれた高等学校を推進する。								
事業実績  (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	○負担金、補助及び交付金(⑤補助金(補助費)) 高校生地域活動支援事業補助金 456,851円 (事業実績) ・広島県立三次青陵高等学校 199,650円 プログラミング教室開催 ・広島県立日彰館高等学校 257,211円 プラスバンドクリスマスコンサート、「ようこそ先輩」講演開催								
	(補助要件) ・対象事業 郷土に愛着と誇りを持つ人材の育成に資する事業、学習活動、ボランティア活動、福祉活動等 ・対象経費 補助対象事業の運営に必要な消耗品購入費、通信運搬費、印刷製本費、謝礼及び交通費に要する費用等 ・交付限度額 補助対象事業1件当たり20万円 高等学校1会計年度当たり30万円								
	別添資料等								
	無								
(事業一覧等)									
成果/評価 *事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	市内高等学校の生徒が取り組む地域振興・地域貢献に関する活動を支援し、郷土に愛着と誇りをもつ人材の育成を図りました。また、高校生向けの広報チラシを作成し、当該高等学校及び生徒への制度を周知することができました。								

(単位：千円)

(単位：千円)

款	項	目							
10	1	3	担当部局・課名		教育部・教育企画課				
事業名			三次小学校改築事業						
事業区分		継続事業			政策3 子どもの未来応援				
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	①報償費	①委員等謝礼	154	44	0	110	29.0%		
	②需用費	③食糧費	3	1	0	2	33.0%		
	③委託料	④調査測量設計監理等委託料	3,820	2,931	0	889	77.0%		
	④工事請負費	①工事請負費	500,106	500,105	0	1	100.0%		
	⑤負担金、補助及び交付金	④負担金(その他)	1,000	188	0	812	19.0%		
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥(①～⑤の計) → 503,269				決算に関する説明書		
	9月補正	3月補正	○	⑦その他の節の決算額 *該当なし"0"を挿入	→ 0	該当／頁	264		
	臨時会補正			⑧(⑥+⑦) 事業決算合計額	→ 503,269	該当／頁	265		
100万円以上の不用額が 生じた理由 (該当のみ)									
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和6年度 特定財源 内訳	503,269	8,970	8,970	480,500	750	4,079			
	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称							
	国庫支出金	子ども・子育て支援施設整備交付金							
	県支出金	子ども・子育て支援施設整備交付金							
	負担金等その他	企業版ふるさと納税							
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	令和2年度に文部科学省の示す基準に基づき各学校の劣化状況調査を行った結果、三次小学校校舎の健全度が市内全小中学校の中で最も低い施設であることが判明したことから、児童の良好な学習環境や生活環境を確保するため、校舎建替えを実施する。								
事業実績  (詳細説明) 事業一覧表／状況写真／図面等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○報償費 (①委員等謝礼)           <ul style="list-style-type: none"> <li>・三次小学校整備事業に関する検討委員会委員謝礼 43,400円</li> </ul> </li> <li>○需用費 (③食糧費)           <ul style="list-style-type: none"> <li>・三次小学校整備事業に関する検討委員会委員お茶代 875円</li> </ul> </li> <li>○委託料 (④調査測量設計監理等委託料)           <ul style="list-style-type: none"> <li>三次小学校屋内運動場改修工事設計業務 2,930,400円</li> </ul> </li> <li>○工事請負費 (①工事請負費)           <ul style="list-style-type: none"> <li>・建築主体工事 409,101,000円</li> <li>・機械設備工事 46,871,000円</li> <li>・電気設備工事 24,288,000円</li> <li>・その他関連工事 19,845,100円</li> </ul> </li> <li>○負担金、補助及び交付金 (④負担金(その他))           <ul style="list-style-type: none"> <li>・NTTケーブル移転工事負担金 188,337円</li> </ul> </li> </ul>								
	別添資料等	 							
	無								
	(事業一覧等)	(第三次小学校新校舎 パース図) (年度末の工事状況)							
	成果/評価 *事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	令和7年9月からの新校舎供用開始に向けて、建築主体工事、機械設備工事、電気設備工事等を進め、スケジュール通りに進捗することができました。また、令和8年度工事予定の屋内運動場改修の実施設計を行い、全体スケジュールに沿って取り組めています。							

款	項	目							
10	1	3	担当部局・課名		教育部・学校教育課				
事業名			小中学校設備改修事業						
事業区分		新規事業		政策3 子どもの未来応援					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 委託料		④調査測量設計監理等委託料		3,360	2,849	0	511	85.0%
	② 工事請負費		①工事請負費		109,530	95,240	0	14,290	87.0%
	③								
	④								
	⑤								
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) → 98,089				決算に関する説明書		
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 *該当なし"0"を挿入 → 0				該当/頁	264	
	臨時会補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 → 98,089				該当/頁	265	
100万円以上の不用額が 生じた理由 (該当のみ)		競争入札等の結果、予定した金額を下回る金額で契約したことによる（入札残）。							
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和6年度 特定財源 内訳	98,089	13,542	0	27,200	0	57,347			
	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称							
	国庫支出金	学校施設環境改善交付金							
	県支出金								
負担金等その他									
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	学校施設の環境改善を図ることを目的として、八次小学校の屋内運動場天井等落下防止工事、八次小学校及び八次中学校の給水タンク改修工事を行う。								
事業実績  (詳細説明) 事業一覧表／状況写真／図面等	○委託料(④調査測量設計監理等委託料) ・八次小学校の屋内運動場天井等落下防止工事設計監理等委託料 473,000円 ・八次小学校給水タンク改修工事設計監理等委託料 1,870,000円 ・八次中学校給水タンク改修工事設計監理等委託料 506,000円								
	○工事請負費(①工事請負費) ・八次小学校の屋内運動場天井等落下防止工事 38,978,500円 ・八次小学校給水タンク改修工事 35,631,200円 ・八次中学校給水タンク改修工事 20,630,500円								
	  								
別添資料等  無	八次小学校の屋内運動場天井      八次小学校給水タンク      八次中学校給水タンク								
(事業一覧等)	八次小学校の屋内運動場天井等落下防止工事、給水タンク改修工事を通し児童生徒が、安全・安心な環境で学習することができる学校施設を整備することができました。								
成果/評価  *事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか									

款	項	目							
10	1	3	担当部局・課名		教育部・教育企画課				
事業名			十日市小学校等改築事業						
事業区分		継続事業(拡充)		政策3 子どもの未来応援					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	①報償費		①委員等謝礼		975	864	0	111	89.0%
	②旅費		①費用弁償		25	3	0	22	12.0%
	③旅費		②普通旅費		106	106	0	0	100.0%
	④委託料		①業務委託料(物件費)		20,131	20,131	0	0	100.0%
	⑤委託料		④調査測量設計監理等委託料		9,757	9,757	0	0	100.0%
補正 区分	6月補正	12月補正	<input checked="" type="radio"/>	⑥(①~⑤の計) → 30,861			決算に関する説明書		
	9月補正	3月補正	<input type="radio"/>	⑦その他の節の決算額 *該当なし"0"を挿入 → 21			該当/頁 264		
	臨時会補正		<input type="radio"/>	⑧(⑥+⑦)事業決算合計額 → 30,882			該当/頁 265		
100万円以上の不用額が 生じた理由(該当のみ)									
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和6年度 特定財源 内訳	30,882	0	0	5,700	0	25,182			
	財源区分 補助金・負担金・交付金等の名称								
	国庫支出金								
	県支出金								
負担金等その他									
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	令和2年度に文部科学省の示す基準に基づき行った各学校の劣化状況調査で、校舎の健全度が2番目に低い十日市小学校について、児童生徒の良好な学習環境や生活環境を確保するため、隣接する十日市中学校と合わせ「施設一体型小中一貫校」として整備する。								
事業実績  (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○報償費(①委員等謝礼)           <ul style="list-style-type: none"> <li>・十日市小・中学校等改築基本構想・基本計画策定委員会 684,000円</li> </ul> </li> <li>○旅費(①費用弁償)           <ul style="list-style-type: none"> <li>・先進地視察費用弁償 3,000円</li> </ul> </li> <li>○旅費(②普通旅費)           <ul style="list-style-type: none"> <li>・先進地視察旅費、用地交渉外 105,620円</li> </ul> </li> <li>○需用費(①消耗品費)           <ul style="list-style-type: none"> <li>・角杭、ロープ外 4,517円</li> </ul> </li> <li>○需用費(③食糧費)           <ul style="list-style-type: none"> <li>・策定委員会委員お茶代 5,580円</li> </ul> </li> <li>○役務費(④手数料)           <ul style="list-style-type: none"> <li>・土地売買契約に係る収入印紙 10,000円</li> </ul> </li> <li>○役務費(⑧その他保険料)           <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門部会行事参加者傷害保険料 1,080円</li> </ul> </li> <li>○委託料(①業務委託料(物件費))           <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本構想・基本計画策定支援業務 19,800,000円</li> <li>・不動産鑑定評価業務 195,800円</li> <li>・策定委員会だより配付業務 134,610円</li> </ul> </li> <li>○委託料(④調査測量設計監理等委託料)           <ul style="list-style-type: none"> <li>・耐力度調査業務 3,821,400円</li> <li>・地形測量業務 5,798,100円</li> <li>・その他関連業務 137,500円</li> </ul> </li> </ul>								
	別添資料等								
	無								
	(事業一覧等)								
	成果/評価  *事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	老朽化した十日市小学校等の改築に向けた基本的な考え方をまとめることができました。							

(単位：千円)

(単位:千円)

(単位：千円)

款	項	目										
10	1・2	3・1	担当部局・課名		教育部・学校教育課・教育企画課							
事業名			甲奴小・小童小学校統合関連事業									
事業区分		新規事業			政策3 子どもの未来応援							
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称			細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%		
	①需用費	①消耗品費		①消耗品費		306	290	0	16	95.0%		
	②委託料	①業務委託料(物件費)		①業務委託料(物件費)		1,220	657	0	563	54.0%		
	③使用料及び賃借料	④自動車借上料		④自動車借上料		572	203	0	369	35.0%		
	④工事請負費	①工事請負費		①工事請負費		3,048	2,838	0	210	93.0%		
	⑤負担金、補助及び交付金	⑤補助金(補助費)		⑤補助金(補助費)		500	475	0	25	95.0%		
補正 区分	6月補正	12月補正	<input checked="" type="radio"/>	⑥(①～⑤の計) ➔ 4,463				決算に関する説明書				
	9月補正	<input type="radio"/>	3月補正	⑦その他の節の決算額 *該当なし"0"を挿入 ➔ 0				該当／頁 262～267				
	臨時会補正			⑧(⑥+⑦) 事業決算合計額 ➔ 4,463				該当／頁				
100万円以上の不用額が 生じた理由 (該当のみ)												
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳					一般財源				
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他						
令和6年度 特定財源 内訳	4,463	0	0	0	0	0	4,463					
	補助金・負担金・交付金等の名称											
	国庫支出金											
	県支出金											
	負担金等その他											
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	令和7年4月からの甲奴小学校と小童小学校との円滑な統合を図るため、物品移動・保管、2校間の交流活動に伴う貸切バスの借上げ、甲奴小学校改修及び小童小学校閉校記念事業への補助を行う。											
事業実績  (詳細説明) 事業一覧表／状況写真／図面等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○需用費(①消耗品費)           <ul style="list-style-type: none"> <li>・甲奴小学校・小童小学校物品整理用品 132,524円</li> <li>・小童小学校閉校式式典用品 157,630円</li> </ul> </li> <li>○委託料(①業務委託料(物件費))           <ul style="list-style-type: none"> <li>・小童小学校物品等運搬業務 656,700円</li> </ul> </li> <li>○使用料及び賃借料(④自動車借上料)           <ul style="list-style-type: none"> <li>・甲奴小学校・小童小学校の交流活動に伴う貸切バスの借上料 202,950円</li> </ul> </li> <li>○工事請負費(①工事請負費)           <ul style="list-style-type: none"> <li>・甲奴小学校門扉設置工事 1,766,600円</li> <li>・甲奴小学校旧車庫改修工事 1,071,389円</li> </ul> </li> <li>○補助金(⑤補助金(補助費))           <ul style="list-style-type: none"> <li>・小童小学校閉校記念事業補助金 475,000円</li> </ul> </li> </ul>											
	別添資料等  無  (事業一覧等)											
		(事前交流)			(門扉設置)			(閉校記念式典)				
		甲奴小学校と小童小学校との統合をに向け各種取組を行い、令和7年4月からの円滑な始動につなげることができた。また、学校に関わる多くの人々と思い出を共有し、学校の歴史を未来へ繋ぐ貴重な機会を支援することができました。										
		成果/評価 *事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか										

款	項	目							
10	2・3	1	担当部局・課名		教育部・学校教育課				
事業名			スクール便運行業務						
事業区分		継続事業		政策3 子どもの未来応援					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 委託料		①業務委託料(物件費) (小学校)		137,929	137,929	0	0	100.0%
	② 委託料		①業務委託料(物件費) (中学校)		2,900	2,676	0	224	92.0%
	③								
	④								
	⑤								
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) → 140,605				決算に関する説明書		
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 *該当なし"0"を挿入 → 0				該当/頁	266,267	
	臨時会補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 → 140,605				該当/頁	270,271	
100万円以上の不用額が 生じた理由 (該当のみ)									
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和6年度 特定財源 内訳	140,605	0	0	0	0	140,605			
	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称							
	国庫支出金								
	県支出金								
負担金等その他									
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	学校統廃合に伴う遠距離通学の児童・生徒（一部保育所を含む。）の通学手段を確保するため、バス・タクシーによるスクール便を運行する。								
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表／状況写真／図面等	○委託料(①業務委託料(物件費))(小学校)(中学校)								
	学 校 名	路線数	利用人数	金 額		備 考			
	三次小学校	2路線	11人	3,739,210円					
	粟屋小学校	1路線	4人	578,100円					
	川西小学校	1路線	6人	1,750,100円					
	川地小学校	1路線	8人	3,509,000円					
	布野小学校	1路線	9人	9,415,050円					
	作木小学校	4路線	31人	47,940,803円					
	吉舎小学校	3路線	27人	16,058,990円					
	みらさか小学校	4路線	39人	19,776,912円					
	三和小学校	4路線	37人	31,748,810円					
	甲奴小学校	2路線	13人	7,190,040円					
君田小学校	2路線	9人	3,127,020円						
塩町中学校	1路線	12人	770,880円						
合 計	26路線	206人	145,604,915円						
成果/評価 *事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	バス・タクシーを含め、26路線のスクール便を運行し、学校統廃合に伴う遠距離通学の児童・生徒（一部保育所含む。）206人の通学手段を確保することができました。								

款	項	目	担当部局・課名 教育部・社会教育課							
10	5	1								
事業名 地域学校協働活動推進事業										
事業区分		継続事業		政策3 子どもの未来応援						
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%	
	①報償費		①委員等謝礼		367	228	0	139	62.0%	
	②									
	③									
	④									
	⑤									
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥(①~⑤の計) → 228					決算に関する説明書		
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 *該当なし"0"を挿入 → 0					該当/頁	272	
	臨時会補正		⑧(⑥+⑦)事業決算合計額 → 228					該当/頁	273	
100万円以上の不用額が 生じた理由 (該当のみ)										
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源			
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他				
令和6年度 特定財源 内訳	228	107	0	0	0	121				
	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称								
	国庫支出金									
	県支出金	学校・家庭・地域連携協力推進事業県費補助金								
負担金等その他										
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	地域と学校が連携・協働し、地域全体で子どもの学びの成長を支えるとともに、地域の将来を担う人材の育成を図るために、学校と地域をつなぐ役割として、地域学校協働活動推進員を配置し取組の推進を図る。									
事業実績  (詳細説明) 事業一覧表／状況写真／図面等	○報償費(①委員等謝礼) 228,000円 ・地域学校協働活動推進員13名委嘱 (三次地区、十日市地区、甲奴地区、君田地区、布野地区、作木地区、吉舎地区、三良坂地区、三和地区、塩町地区、八次地区、川地地区、全域)									
	 会議の様子									
別添資料等  無  (事業一覧等)	  地域学校協働活動の様子（防災教育・家庭科の授業）									
成果/評価  *事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	地域学校協働活動推進員を配置することで、学校との連絡調整、情報の共有、会議への参加や地域住民への呼びかけなど、地域と学校が円滑に連携・協働できるよう取組を進めています。 令和6年度は市内全中学校区に推進員を配置することができ、引き続き、地域と学校が連携した取組を推進していきます。									

(単位：千円)

(単位：千円)

款	項	目	担当部局・課名		教育部・学校教育課					
10	6	3	事業名		三次学校給食センター給食配達業務					
事業区分		継続事業			政策3 子どもの未来応援					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称			細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	①委託料			①業務委託料(物件費)		45,539	45,539	0	0	100.0%
	②									
	③									
	④									
	⑤									
補正 区分	6月補正	12月補正	○	⑥(①～⑤の計) ➔ 45,539				決算に関する説明書		
	9月補正	3月補正		⑦その他の節の決算額 *該当なし“0”を挿入 ➔ 0				該当／頁	290	
	臨時会補正			⑧(⑥+⑦) 事業決算合計額 ➔ 45,539				該当／頁	291	
100万円以上の不用額が 生じた理由 (該当のみ)										
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳					一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他				
令和6年度 特定財源 内訳	45,539		0	0	0	0		45,539		
	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称							
	国庫支出金									
	県支出金									
	負担金等その他									
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	三次学校給食センターで調理した給食を、衛生的に管理し、安全かつ決められた時間内に給食受配校へ配達する。									
事業実績  (詳細説明) 事業一覧表／状況写真／図面等	○委託料(①業務委託料(物件費)) 45,538,702円 三次学校給食センターの給食受配校に対し、衛生的かつ安全、確実に給食の配達を行うための配達業務を専門業者に委託した。令和6年9月からは新たに小学校1校、中学校1校への給食配達を開始し、給食受配校19校への配達を実施した。									
										
別添資料等	給食配膳の様子				回収の様子					
無										
(事業一覧等)										
成果/評価  *事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	学校給食の配達を専門業者に委託することで、学校給食を衛生的な管理の下で安全かつ決められた時間内に給食受配校へ配達することができました。									

款	項	目							
10	6	3	担当部局・課名		教育部・学校教育課				
事業名			学校給食食育推進事業						
事業区分		新規事業		政策3 子どもの未来応援					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 負担金、補助及び交付金	⑤補助金(補助費)			1,500	1,499	0	1	100.0%
	②								
	③								
	④								
	⑤								
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥(①~⑤の計) → 1,499				決算に関する説明書		
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 *該当なし"0"を挿入 → 0				該当/頁	290	
	臨時会補正		⑧(⑥+⑦)事業決算合計額 → 1,499				該当/頁	291	
100万円以上の不用額が 生じた理由(該当のみ)									
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和6年度 特定財源 内訳	1,499	0	0	0	1,498	1			
	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称							
	国庫支出金								
	県支出金								
負担金等その他	ふるさと創生基金繰入金								
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	市内の小・中学校において、三次を代表する食材(ピオーネ等の三次ブランドの食材)を活用したメニューの給食を実施した場合において、その食材費に係る費用を補助金として交付する。市内の児童・生徒が三次を代表する食材を給食で喫食することにより、児童・生徒への三次ブランドの浸透を図り郷土愛の醸成を図ることを目的とする。								
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○負担金、補助及び交付金(⑤補助金(補助費))            三次市学校給食地産地消推進事業補助金 1,498,640円</li> <li>・三次産ピオーネ 9月給食提供(補助金額293,544円)</li> <li>・三次産梨 9月給食提供(補助金額391,800円)</li> <li>・三次産豚肉(霧里ポーク) 11~12月給食提供(補助金額813,296円)</li> </ul> <p>令和6年度は、ピオーネ・梨・霧里ポークの三次ブランドの食材を給食で提供した。 また、栄養教諭等が生産者への取材を行い、デジタル教材や食育など啓発資料を作成し児童生徒に食に関する指導を行った。</p>								
別添資料等 無 (事業一覧等)									
成果/評価 *事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	三次ブランドの食材費を補助金として交付することで、児童生徒が三次ブランドの食材にふれあう機会を持たせることにつながり、三次ブランドの食材についての動画や啓発資料をICTを用いて受配校に配信することにより、三次に誇りを持ち、郷土愛を醸成させ、食文化の継承をすることについての意識づけを図ることができました。								

款	項	目								
10	6	3	担当部局・課名		教育部・学校教育課					
事業名			食品残渣リサイクル業務							
事業区分		継続事業（拡充）		政策3 子どもの未来応援						
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%	
	① 委託料		③施設機器等管理委託料		1,426	1,426	0	0	100.0%	
	②									
	③									
	④									
	⑤									
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) → 1,426				決算に関する説明書			
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 *該当なし"0"を挿入 → 0				該当／頁	290		
	臨時会補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 → 1,426				該当／頁	291		
100万円以上の不用額が 生じた理由（該当のみ）										
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源			
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他				
令和6年度 特定財源 内訳	1,426	0	0	0	0	1,426				
	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称								
	国庫支出金									
	県支出金									
負担金等その他										
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	三次学校給食センターから発生する生ゴミの処理に係る食品残渣リサイクル業務を専門業者に委託することによって、調理員の生ゴミの処理に係る負担を軽減し、生ゴミの減量化により環境に配慮することを目的とする。									
事業実績  (詳細説明) 事業一覧表／状況写真／図面等	○委託料(③施設機器等管理委託料) 食品残渣リサイクル業務委託 118,800円×12月=1,425,600円 三次学校給食センターから発生した食品残渣を、三次学校給食センターで一次発酵、北九州市のリサイクルセンターで二次・三次発酵し堆肥化して、三次学校給食センターの受配校の花壇などでの菜園活動に活用した。 令和6年度配布実績 11校 200キログラム									
										
別添資料等  無  (事業一覧等)	クラブ活動で堆肥を活用 地域の方と花壇づくり									
成果/評価  *事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	三次学校給食センターから発生する生ゴミの処理業務を委託することで、ゴミの減量化や調理員の負担を軽減することができます。また、食品残渣を堆肥化し各学校に配布し、学校の花壇や菜園活動で活用することができ、児童生徒の環境教育の一端を担うことができました。									

款	項	目								
10	6	3	担当部局・課名		教育部・学校教育課					
事業名			学校給食調理場整備事業							
事業区分		継続事業		政策3 子どもの未来応援						
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%	
	①工事請負費		①工事請負費		145,956	145,651	0	305	100.0%	
	②									
	③									
	④									
	⑤									
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥(①~⑤の計) → 145,651					決算に関する説明書		
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 *該当なし"0"を挿入 → 0					該当/頁	290	
	臨時会補正		⑧(⑥+⑦) 事業決算合計額 → 145,651					該当/頁	291	
100万円以上の不用額が 生じた理由 (該当のみ)										
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳					一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他				
令和6年度 特定財源 内訳	145,651	0	0	145,400	0	251				
	財源区分 補助金・負担金・交付金等の名称									
	国庫支出金									
	県支出金									
負担金等その他										
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	三次学校給食センターの建設にあたり、当センターからの雨水の貯留機能を有する調整池を整備することによって、施設周辺の浸水リスクを軽減させることを目的とする。									
事業実績  (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	○工事請負費(①工事請負費) (仮称)三次市新学校給食調理場 調整池新設工事 145,651,000円									
	 <p>調整池全景</p>									
別添資料等  無  (事業一覧等)	三次学校給食センターにおける雨水の円滑な排水と施設周辺の浸水リスクの軽減対策ができました。									
成果/評価  *事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか										

款	項	目							
10	5	4	担当部局・課名		教育部・社会教育課				
事業名			重要文化財等保存修理事業						
事業区分		継続事業（拡充）		政策4 豊かな心と生きがい					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 負担金、補助及び交付金	⑤補助金（補助費）			4,170	3,650	0	520	88.0%
	②								
	③								
	④								
	⑤								
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥（①～⑤の計） → 3,650				決算に関する説明書		
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 *該当なし“0”を挿入 → 0				該当／頁	276	
	臨時会補正		⑧（⑥+⑦）事業決算合計額 → 3,650				該当／頁	277	
100万円以上の不用額が 生じた理由（該当のみ）									
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和6年度  特定財源 内訳	3,650	0	0	0	0	3,650			
	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称							
	国庫支出金								
	県支出金								
負担金等その他									
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	市内の重要文化財等の保存と活用を図るため、保存修理を行う。事業主体である所有者に対し、国庫補助事業の受益者負担の一部を負担する。								
事業実績  (詳細説明) 事業一覧表／状況写真／図面等	○負担金、補助及び交付金(⑤補助金(補助費)) 3,650,000円  ・事業費:73,000,000円 (うち、市補助金(5%):3,650,000円) 国庫補助(85%):62,050,000円 県費補助(5%): 3,650,000円 所有者負担(5%): 3,650,000円 ・事業内容:重要文化財奥家住宅の保存修理工事 (茅葺屋根・土蔵等の修理)								
									
別添資料等  無 (事業一覧等)	重要文化財 奥家住宅								
成果/評価  *事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	令和6年度は、重要文化財奥家住宅（三次市吉舎町）の保存修理工事を実施しました。 重要文化財奥家住宅は、建物の構造と残存する棟札・古文書等の資料により、建築年代（主屋：天明8（1788）年、土蔵：文化9（1812）年）が明確な全国的にも貴重な民家であり、次世代への継承に向けた修繕等を継続して実施していきます。								

(単位：千円)

(単位：千円)

款	項	目							
10	5	4	担当部局・課名		教育部・社会教育課				
事業名			史跡寺町廃寺跡整備事業						
事業区分		継続事業（拡充）			政策4 豊かな心と生きがい				
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	①報償費		①委員等謝礼		351	351	0	0	100.0%
	②旅費		①費用弁償		110	99	0	11	90.0%
	③旅費		②普通旅費		57	56	0	1	98.0%
	④需用費		④印刷製本費		855	835	0	20	98.0%
	⑤委託料		①業務委託料（物件費）		4,072	4,070	0	2	100.0%
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥（①～⑤の計） ➔ 5,411				決算に関する説明書		
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 *該当なし“0”を挿入 ➔ 0				該当／頁 276		
	臨時会補正		⑧（⑥+⑦）事業決算合計額 ➔ 5,411				該当／頁 277		
100万円以上の不用額が 生じた理由（該当のみ）									
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳					一般財源	
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和6年度	5,411	2,704	0	0	0	2,707			
特定財源 内訳	補助金・負担金・交付金等の名称								
	国庫支出金	歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業補助金							
	県支出金								
	負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	三次市向江田町に所在する国史跡の寺町廃寺跡について、適切な保存及び市民から愛される文化財を目指して、史跡の有する歴史的・文化的魅力が体験できる整備を行うことで、市民の歴史に対する理解を深め、郷土愛の醸成に努める。								
事業実績  (詳細説明) 事業一覧表／状況写真／図面等	※史跡寺町廃寺跡整備事業費計 5,408,910円								
	○報償費(①委員等謝礼) ・史跡寺町廃寺跡整備基本計画策定委員謝礼 350,200円(年3回開催)								
	○旅費(①費用弁償) ・史跡寺町廃寺跡整備基本計画策定委員の費用弁償等 98,630円								
	○旅費(②普通旅費) ・文化庁協議に係る普通旅費等 55,180円								
	○需用費(④印刷製本費) ・史跡寺町廃寺跡整備基本計画書印刷 834,900円								
	○委託料(①業務委託料(物件費)) ・整備基本計画策定支援業務 4,070,000円								
									
別添資料等	整備基本計画策定委員会の様子								
無									
(事業一覧等)									
成果/評価  *事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	史跡寺町廃寺跡について、適切な保存と有効的な活用を目的とした整備事業です。 令和6年度は、史跡整備に向けた方向性及び方針をまとめた整備基本計画を策定しました。 策定にあたっては、策定委員会での審議や地元説明会を実施しながら適切な計画策定に努めました。 今後はA R・V R等の先端技術の活用も考慮しながら、幅広い世代の興味・関心を集め整備手法を検討します。								

(单位：千円)

款	項	目									
10	5	5	担当部局・課名		教育部・社会教育課						
事業名			子ども文化芸術ふれあい事業								
事業区分		継続事業		政策3 子どもの未来応援							
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%		
	① 負担金、補助及び交付金	⑤補助金(補助費)			5,800	4,405	0	1,395	76.0%		
	②										
	③										
	④										
	⑤										
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥(①~⑤の計) → 4,405					決算に関する説明書			
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 *該当なし"0"を挿入 → 0					該当/頁	282		
	臨時会補正		⑧(⑥+⑦)事業決算合計額 → 4,405					該当/頁	283		
100万円以上の不用額が 生じた理由(該当のみ)		美術鑑賞事業の実施が当初見込みよりも少なかったため。									
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳					一般財源			
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他					
令和6年度 特定財源 内訳	4,405	0	0	0	0	4,405					
	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称									
	国庫支出金										
	県支出金										
負担金等その他											
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	市内の小中学生に、本市の芸術や歴史、文化に触れる機会を提供することで、児童生徒の豊かな心を育み、本市の文化・芸術の発展・継承と創造につなげる。										
事業実績  (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	○負担金、補助及び交付金(⑤補助金(補助費)) <ul style="list-style-type: none"> <li>・劇団四季こころの劇場ファミリーミュージカル招待公演 2,258,256円 演目:ガンバの大冒険 対象:小学校5・6年生 800名</li> <li>・劇団四季一般公演 1,537,060円 劇団四季三次公演実行委員会への補助金</li> <li>・美術鑑賞事業 609,806円 鑑賞児童生徒数:390名 実施校:小学校10校、中学校2校 実施場所:奥田元宋・小由女美術館ほか</li> </ul>  <p>劇団四季によるミュージカル公演</p>										
	別添資料等  無 (事業一覧等)	  <p>美術鑑賞事業(奥田元宋・小由女美術館、みよし風土記の丘)</p>									
	成果/評価  *事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	本事業は、小中学生が芸術文化に触ることのできる貴重な機会の提供につながりました。一方で実施校が限定されているという課題も把握することができました。									

(单位：千円)